

# 実務経験申告書

岡山市長 大森 雅夫 様

令和 年 月 日

住所 \_\_\_\_\_

氏名 (署名) \_\_\_\_\_

私の『心理判定業務』に関する実務経験について、次のとおり申告します。

勤務していた (している) 機関の名称 及び部署名	職 種	実務経験の具体的内容  ※受験資格に該当する実務経験の内容を具体的に記入ください。 ※単なる雑務や事務補助は実務経験となりませんのでご注意ください。	従事期間
			年 月 日 から 年 月 日 ( 年 か月)
			年 月 日 から 年 月 日 ( 年 か月)
			年 月 日 から 年 月 日 ( 年 か月)
合 計 期 間 〔※受験申込時に必要な業務経験の期間が1日でも不足する場合は、受験資格と認められません。〕			年 か月

受験資格	心理判定業務	下記の(1)のいずれかの資格を有し、(2)の経験を有する者 (1) 臨床心理士、公認心理師、認定心理士 (2) 行政機関や医療機関等で知能検査及びその他の心理学的判定に関する実務経験 但し、認定心理士は6か月以上
------	--------	---

※受験資格(1)の資格証(写し)及び(2)の実務経験を証明する書類としてこの実務経験申告書を添付してください。

※申告された実務経験が受験資格の要件を満たしていない、もしくは事実と異なることが判明した場合は、受験資格が得られなかったり、合格を取り消すことがあります。十分注意して申告を行ってください。

※書ききれない場合は、別途A4サイズ用の紙に同様の表を作成し、添付してください。